

住まいるニュース

Vol.86



玄関の適切な広さ

玄関は家の第一印象を左右すると言われています。

快適で使いやすい玄関にするにはどのくらいの広さにするべきなのでしょうか。

標準的な玄関の広さは約3畳で、1畳は土間、1畳は玄関ホール、1畳は収納スペースとして確保することが多いです。

■広い玄関のメリット

- ・広々として開放感がある
- ・身支度や靴磨きなどを行うスペースがあります
- ・ベビーカーや傘など荷物を置くスペースがあります
- ・車いすでも入れて、バリアフリーリフォームもしやすい
- ・靴が沢山収納できるので、片付いたスッキリとした玄関になります



■広い玄関のデメリット

- ・施工費用が高くなります
- ・玄関にスペースを確保した分、他のスペースが狭くなります

■狭い玄関のメリット

- ・施工費用が安い
- ・狭くした分、他の居室にスペースを使えます
- ・無駄なスペースが無いいため整理整頓しやすくなります



■狭い玄関のデメリット

- ・収納スペースや作業スペースが少ない
- ・車いすやベビーカーで入りづらい
- ・バリアフリーのリフォームをするためには玄関を広くしなくてはいけない

広い玄関と狭い玄関のメリット・デメリットは表裏一体です！

■広い玄関が必要な場合

- ・趣味や釣りやスノーボードなどのアウトドアで道具を収納するスペースが欲しい
- ・来客が多いお家



玄関の大きさは「収納する靴が何足くらいあるのか」「アウトドアグッズはあるのか」「玄関をどう活用するのか」など、ご家族のライフスタイルを考えてから広さを検討することや、将来的に子どもたちが独立したら広い収納スペースは必要か？バリアフリーリフォームをするための広さは必要？など、長期的な視点でも考えてみることも大切です

建設中現場のご紹介



K様邸(福知山市)



K様邸(丹波篠山市)



K様邸(福知山市)



U様邸(丹波篠山市)



A様邸(福知山市)



K様邸(丹波篠山市)



S様邸(福知山市)



O様邸(丹波篠山市)



H様邸(丹波篠山市)



K様邸(福知山市)



S様邸(福知山市)



A様邸(福知山市)



M様邸(福知山市)



U様邸(福知山市)



F様邸(丹波篠山市)



今回の担当は、

設計

田中 里佳
です。

冬の乾燥や感染症対策のための手洗いやアルコール消毒によって手荒れしている方も多いのではないのでしょうか。手荒れは放置すると悪化し、手湿疹になる場合があるので要注意です。手洗いやアルコール消毒後にはハンドクリームなどで保湿することが大切です。

良い香りのハンドクリームを使うことで気分も上がるので、お気に入りの香りのハンドクリームを見つけてみてください！



ハンドクリームの効果がより高まる方法

1. まずは、手を温める

特に冬場は手が冷えがちなので、グーパーするなど手を動かしてみましょ。

2. (できれば) 化粧水などで保湿する

3. 手の平に出してクリームを温める

一般的には、手の甲の方が乾燥しやすいので手の甲から、と言われますが手荒れがある方から温めていきましょう

4. 手の平、手の甲全体に伸ばす

ここからは伸ばしていく作業なので、力の入れすぎに注意ですマッサージするように、自分の気持ち良い力で

5. 指一本ずつ伸ばす

爪の周りも伸ばすと、ささくれ対策になります。

6. 指の間も忘れずに伸ばす



■未来を担うゼロエネルギー住宅

ウィズ
— With —

省エネの工夫で消費エネルギーを減らし、使うエネルギーは自ら創り出す。究極のエコロジー住宅です。



LINEからチャット感覚でお問合せ・カタログ請求

